

地域密着型サービス運営推進会議

令和7年度 第3回報告書

日 時： 令和7年9月24日(木)14時～15時

施設形態：グループホーム

会 場： たくひの里 ホール

参加者

利用者代表	0人	地域代表	1人
利用者家族	0人	あんしん支援センター	1人
ボランティア代表	1人	市担当職員	1人
施設長・管理者・職員			3人

1、 ご利用者の様子

<要介護度>

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
3名	5名	3名	4名	2名

*男性1名、女性16名 平均年齢92.3歳 平均介護度 2.8

◎入退院入退所

- ・退院(9/4)1名
- ・退所(9/12)1名
- ・入院(9/17)1名
- ・入所(9/23)1名

2、 日常の様子

- ・別紙(たくひ通信)写真資料参照

3、 研修・会議

- ・看取りに対する研修会 9月7日(日)
- ・個別ケア会議 9月7日(日)9月10日(水)

◎ 日常の様子などの意見交換

- ・前回地域交流の機会が少ないと聞いていたので地域の方に聞いてみた。三味線をされる方が来て下さるそうだが、お楽しみ会をとして10月にされてはどうか(地域ボランティア代表)。
- ・来所されるのは大津の方なのか(あんしん支援センター)。
- ・以前に来てもらったことがある方で大津の方でもあり、ありがたい(管理者)。
- ・お祭りをされているが、これには地域の方も来られたのか？小人数ずつでも参加してもらって関わられると良いと思う(市役所)。
- ・まだ以前のようにお祭りには来ていただいていないが、今後は参加も声かけていきたい(管理者)。
- ・いろんなことをされていていつも感心している。地域の方が来られても面会など

制限はされていないのか（地域有識者）。

- ・玄関で検温や消毒はあるが、食事時間と夜間以外は制限していない（管理者）。

5、自己評価・外部評価について

◎令和7年度 自己評価、外部評価の運営推進会議活用（2回目）

Ⅱ、その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント（16～25項目まで）

- ・ 自己評価（職員評価）結果・・・別紙

◎ 意見交換

- ・評価やマニュアルよりも大切なのはスタッフと利用者の接し方の方ではないかと思う。
長年来て様子をみさせてもらっているが、ここは職員と利用者の方との信頼関係ができています。聞き方、声の掛け方が大切ではないか（地域ボランティア代表）
- ・運営指導で見せてもらったが一人一人のケアプランやモニタリングが丁寧にされていたので良いと思う。地域資源の協働については地域資源をどのようにとらえて把握していきたいのか。地域の方が散髪にこられたりボランティアにこられているので十分体制ができていないのではないか（市役所）
- ・地域資源とはどうゆうものか解釈が難しい（地域代表）
- ・職員としてはご利用者が楽しめるような場所やイベントなどがもっとあればいいと考えている（管理者）

◎テーマ・・・重度化と終末期の対応と利用者

＊日常の中での動作や食欲などの変化があれば早めの情報提供、意向を確認。本人、家族、医療機関と話し合いをして支援に努めている。

＊終末期の在り方を早い段階で話し合い、情報を共有して支援している。

・ACP というか、早い段階でというのとどのくらいで終末期について話し合いを行っているのか（あんしん支援センター）

- ・お医者さんがすぐ来ていただける体制になっているのか（地域有識者）
- ・医療機関との連携ができており、夜間でもすぐ来ていただける体制がとれている。入所時に重度化した場合の指針で説明させていただいており、個々では医療的な処置を望まれない場合に限り看取りをさせて頂いている。さらに主治医の判断のもとで、近づいた段階で看取りについての説明や同意をいただいている（管理者）。
- ・看取りの場としてホームを選ばれる方もいらっしゃるだろうが、認知症という状態でご家族がおられないとなかなか判断が難しい。そのような場合にどうされているか（あんしん支援センター）
- ・以前にご家族がおられなくて後見人の方をお願いしたケースがある（施設長）
- ・本人に認知症という診断がついた時点で、あらゆる手続きや判断が難しくなる。困ったときには市役所やあんしん支援センターに発信してほしい（市役所）

・いろんなご意見をいただいて勉強になりました。今後ともよろしくお願いいたします。

（施設長、管理者）